



認知症サポーターのススメ

千葉県医師会理事

海村孝子 医師



認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する応援者です。

市町村や職場・学校などで実施されている「認知症サポーター養成講座」を受講することで、認知症サポーターになることができます。平成26年12月末時点で、全国の認知症サポーター数は580万人を達成し、国は平成29年度末までに800万人を養成することを目標としています。

千葉県でも平成26年12月31日現在、19万9千843人が養成済みで、平成29年度末までに31万人の養成を目標としています。

今後、高齢者人口が急増する千葉県では、支援や介護が必要な認知症高齢者が平成27年に約16万5千人、平成37年には約23万人に増加すると見込まれます。増え続ける認知症高齢者の暮らしを支えることは、今の千葉県にとって最重要課題の一つと言えます。

小中学生から高齢者までのすべての年代で、認知症への理解を推進し、認知症高齢者に優しい地域づくりへの協力が求められています。介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、また、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築するためにも、認知症サポーターの養成が役立ちます。受講に資格要件はありません。どなたでも受講できます。

お住まいの市町村に問い合わせて、ぜひ「認知症サポーター養成講座」を受講してみてください。

ミレニアム millennium

2016 March 第56号

21世紀を「健康の世紀」に…。

その願いから「ミレニアム(新千年紀)」と名付けました。

目次

特集

“第二の心臓” 足に気配りを！
～下肢静脈瘤～ 1

スポーツコーナー

朝ストレッチのすすめ
～体内時計を活性化しよう～ 5

新風—千葉県の医療情報紹介—

C型肝炎を飲み薬だけで治す
インターフェロンを使わない体に優しい最新治療 6

アスリートに聞く！～スポーツとカラダづくり～

BMXライダー 池田貴広さん 8

からだのソラシド♪ マナボっと

進級進学されたみなさんへ伝えたいこと
～生活習慣と病気～ 10

こども相談室

気管支炎と喘息の違いについて 13

千葉県インフォメーション

県内の認知症疾患医療センター紹介/
お子様の予防接種/里親制度について 14

ミレニアム通信

健康診断結果表の見方 16

こころの健康

気分障害について
(その5 躁うつ病の復権(双極性障害)) 18

旬食野菜クッキング

いんげんのいため煮 19

医師会インフォメーション

間違い探しクイズ、プレゼント 他 20